

佐々町の部活動の地域移行について 第1号

佐々町教育委員会

スポーツ庁及び文化庁は、現在の中学校部活動を学校から地域への移行を進めています。その必要性については

- ①少子化が進む中で学校単位の部活動が困難になること
- ②競技の専門性を有した教員の不足
- ③休日を含めた部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな負担になっていること等があげられています。



そのような中で、スポーツ庁及び文化庁では、令和5年度から令和7年度を改革集中期間として、令和8年度からは休日の部活動を地域に移行するとのスケジュールを示しています。

また、県教育委員会は、市町教育委員会が持続可能な学校部活動の在り方について検討し、速やかに改革に取り組むこととしています。

本町の中学校生徒数は、急激な減少はないと予想されるものの、国・県・他市町の動きを考えると、部活動の地域移行について検討をはじめなければなりません。

そこで、昨年度3回にわたり、学校、保護者、地域スポーツ・文化関係団体、教育委員会による「佐々町の部活動の在り方検討委員会」を開催しました。また、8月30日（金）に文化会館において県教育委員会体育保健課の課長補佐を講師としてお招きし、「なぜ部活動地域移行が必要か」と題した講演をしていただきました。

現在の国・県や他市町の動向や本町における検討状況を保護者の方々等に毎週金曜日の学校からのメールで6号に渡しお知らせしていきたいと思います。

佐々町の部活動の方向性

- まずは、休日の部活動の地域移行を目指します。
- 平日の部活動は、これまでと同様です。将来的には、平日の部活動についても地域移行の検討が必要になるかもしれません。



